

## 十和田の火山活動解説資料（令和元年12月）

仙台管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1）

銀山監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

#### ・地震や微動の発生状況（図2）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図3、図5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

---

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（令和2年1月分）は令和2年2月10日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び青森県のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。



図1 十和田 中湖周辺の状況（12月9日）  
 ・ 銀山監視カメラ（中湖の北西約6km）の映像です。

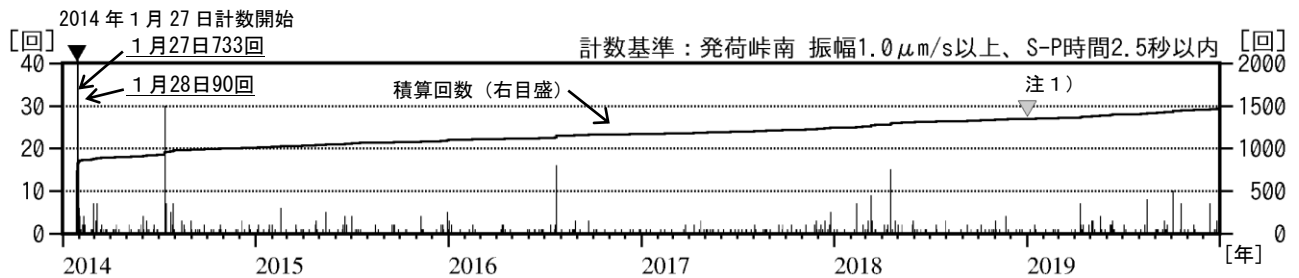


図2 十和田 日別地震回数（2014年1月～2019年12月）

- ・ 計数基準の変遷は次のとおりです。
- 計数開始 2014年1月27日～ 防災科学技術研究所小坂観測点 振幅  $1.0 \mu\text{m/s}$  以上、S-P時間2秒以内
- 注1 2019年1月1日～ 発荷峠南観測点 振幅  $1.0 \mu\text{m/s}$  以上、S-P時間2.5秒以内

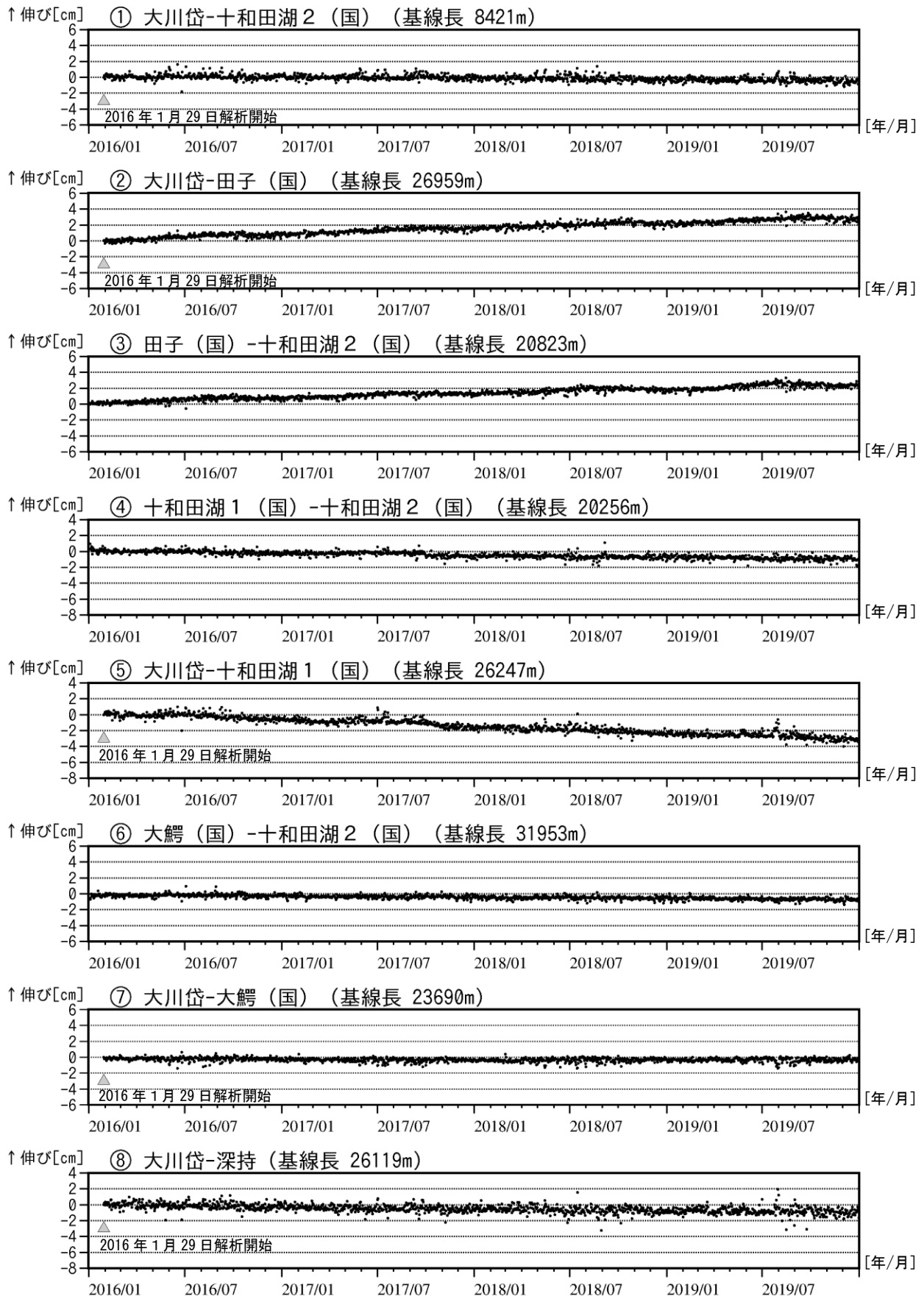


図3 十和田 GNSS 基線長変化図 (2016年1月～2019年12月)

- ・①～⑧は図5のGNSS基線①～⑧に対応しています。
- ・空白部分は欠測を示します。
- ・(国)は国土地理院の観測点を示します。

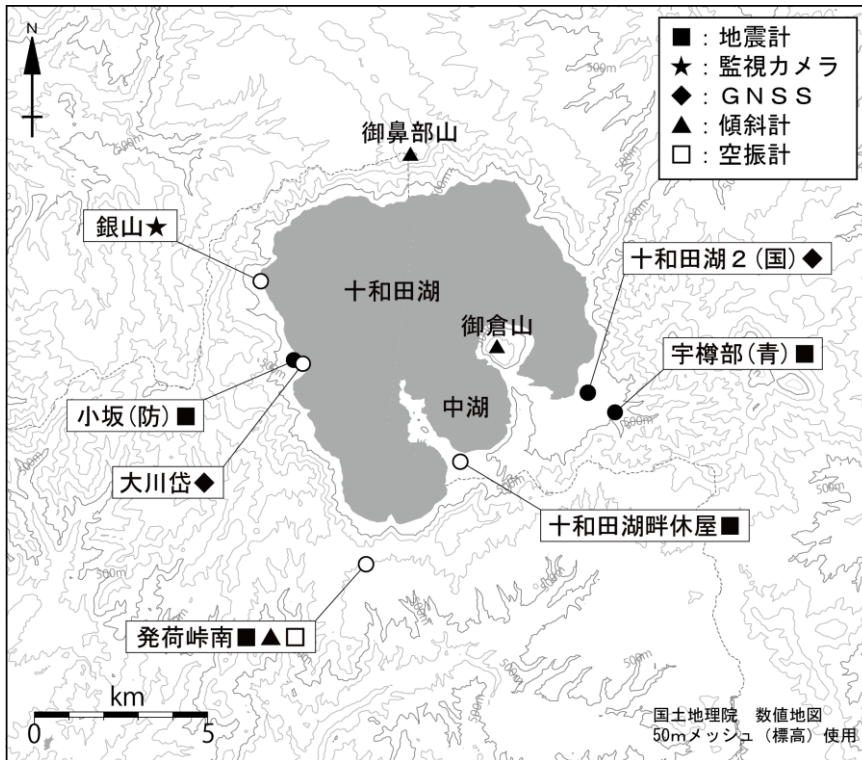


図4 十和田 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院 （防）：防災科学技術研究所 （青）：青森県

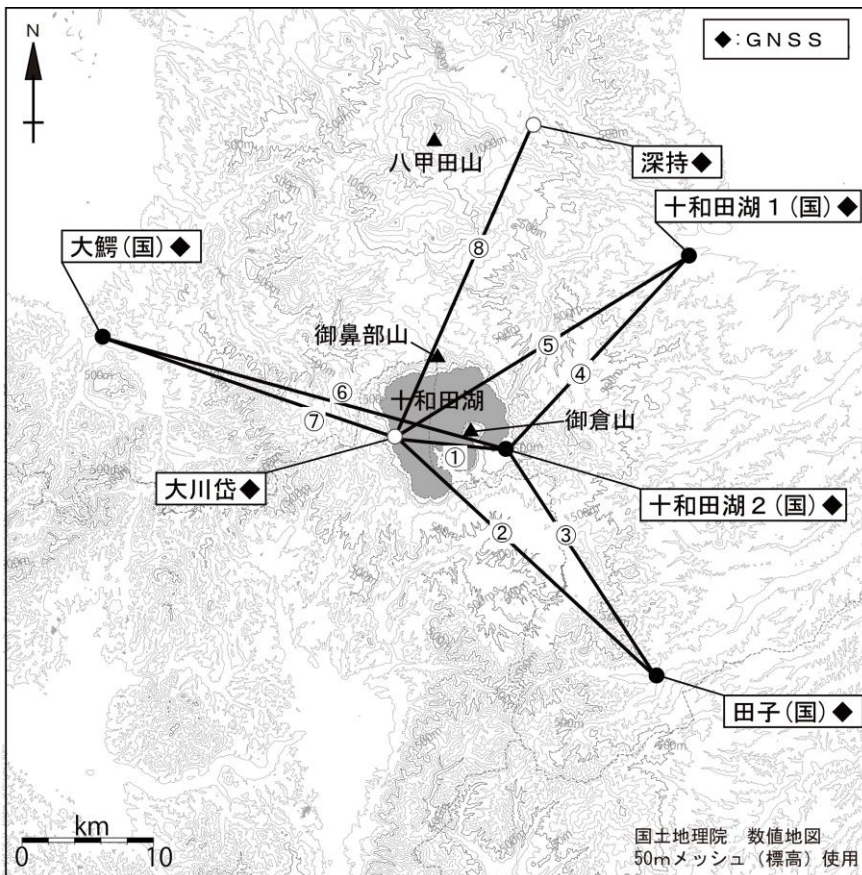


図5 十和田 GNSS 観測基線図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院